

平成 24 年 7 月 30 日

ベルト伝動技術懇話会 会員 各位

ベルト伝動技術懇話会
会長 飯塚 博
企画委員長 浜崎 裕太

ベルト伝動技術懇話会 企画委員会主催 第 18 回講演会ご案内

ベルト技術の明日を学ぶ
～ 新規素材と新規評価方法 ～

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、ベルト伝動技術懇話会 企画委員会主催 第 18 回講演会を下記のように開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、「ベルト技術の明日を学ぶ ～ 新規素材と新規評価方法 ～」と題して、主に若手技術者を対象に、ベルト伝動技術において今後活躍することが予測される素材や評価方法に着目したテーマにてご講演を賜ります。

聴講者のみなさまには本講演会を通して、今後のベルト産業発展のためのヒントとなればと考えております。ご多用中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、多数ご参加下さいますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

【記】

1. 講習会：第 18 回講演会「ベルト技術の明日を学ぶ ～ 新規素材と新規評価方法 ～」

2. 日時：2012 年 9 月 7 日（金） 13：00 ～ 16：50（受付開始 12：30 ～）

3. 場所：同志社大学 今出川校地 室町キャンパス 寒梅館 2F KMB211 室

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_campus.html

http://www.doshisha.ac.jp/access/ima_access.html

4. プログラム：当日のプログラムは以下の通りです。

13:00 ～ 13:05 主催者 開会の挨拶

13:05 ～ 13:55 講演① 非粘弾性ナイロン系アロイ：ベルトとの接点

山形大学大学院理工学研究科 機能高分子工学専攻 井上 隆 氏

14:00 ～ 14:50 講演② 新規素材（カーボンナノファイバー）について

帝人株式会社 新事業開発推進グループ・融合技術研究所・第二研究室 小村 伸弥 氏

14:50 ～ 15:05 休憩

15:05 ～ 15:55 講演③ レーザドップラ速度計の原理と応用方法

アクト電子株式会社 代表取締役 田中 克典 氏

16:00 ～ 16:50 講演④ 二輪車用変速Vベルトにおける動力損失要因の分離手法

バンドー化学株式会社 伝動事業部 伝動技術研究所 ベルト開発グループ 坂中 宏行 氏

<各プログラムの概要>

講演①	山形大学大学院理工学研究科 機能高分子工学専攻 井上 隆 氏
	高分子は粘弾性体である。つまり高速で変形させるほど硬い材料として振舞う。我々が最近開発したナイロン系アロイ（NOVA）は高速ほど柔らかくなる。この非粘弾性アロイの構造と物性について概説したのちに、肘を痛めないテニスラケット・衝撃吸収するスノーボード・自動車部品などの応用事例を紹介する。新材料NOVAとベルトとの接点を期待して。
講演②	帝人株式会社 新事業開発推進グループ・融合技術研究所・第二研究室 小村 伸弥 氏
	東京工業大学（赤津隆准教授、安田栄一名誉教授）と帝人株式会社は、化学繊維の一般的な製造方法である熔融紡糸法を応用して、低コストに製造可能な高導電性カーボンナノファイバー（CNF：Carbon Nano Fiber）を開発しました。このCNFは、繊維直径が300nm、繊維長は20μm以上と従来のCNFの10倍以上にも及び、電気抵抗が従来より30～40%低い特徴があります。また、製造工程において触媒を一切使わないため、高純度のCNFを製造できるなどの特徴もあります。本講演では、新規CNFの製法および特徴を中心にご紹介いたします。
講演③	アクト電子株式会社 代表取締役 田中 克典 氏
	レーザドップラ速度計の測定原理と使用方法を解説し、2チャンネル速度・速度ムラ測定器への応用と使用事例を紹介します。また、2チャンネル速度計を用いた非接触による伝達誤差測定、スリップ率測定への応用方法について説明します。
講演④	バンドー化学株式会社 伝動事業部 伝動技術研究所 ベルト開発グループ 坂中 宏行 氏
	二輪車は、アジアが最大の市場であり、将来的にもアジア市場の拡大が予測されている。そのアジア市場における二輪車の主流は、125cc 以下のモペット型二輪車であるが、最近スクーター並の容易な運転性が要求されるようになってきた。しかも近年の世界潮流である対環境性向上や化石燃料問題により車両の燃費向上が要求されており、現行のスクーターの燃費（40km/L）がモペット型二輪車（60km/L）よりも悪いことが問題となっており、ベルトには効率の向上が求められている。 そこで、ベルト効率の向上を図るために、ベルト効率に影響する各動力損失要因を分離する方法について検討した。ベルト効率を向上する各要因を分離する手法を確立する事で、ベルトにおける各動力損失因子の内訳を求め、影響の大きい要因を明らかにして、効率向上に役立てる事を目的とした。

5. 参加費（飲み物代込）：会員 4,000 円
 会員外 8,000 円
 学生 1,000 円

6. 参加申込：添付の申し込み用紙に必要事項をご記入の上、**8月24日（金）**までに E-mail
でお申し込みください。

参加費は当日持参またはお振込みにてお願いします。

参加費をお振込される方は、**ゆうちょ銀行**の下記口座にてお願い致します。

（参加費の領収書は当日にお渡しします）

（今年から振込先が変更されておりますのでご注意ください）

■ 金融機関からの振込の際は

【店名】八五八（読み ハチゴハチ） 【店番】 8 5 8
【貯金種目】普通預金 【口座番号】 1 5 8 9 7 1 0
ベ ル ト デンドウギジュツコンワカイ
ベルト伝動技術懇話会

■ ATM または窓口にて振込の際は

【記号】 1 8 5 7 0
【番号】 1 5 8 9 7 1 0 1
ベ ル ト デンドウギジュツコンワカイ
【氏名】ベルト伝動技術懇話会

住所 山形県米沢市城南4丁目3-16
山形大学工学部 機械システム工学科内
会長 飯塚 博

※ 振込期日：8月24日（金）

※ 振込手数料については、各自ご負担願います。

※ 尚、当日の欠席（キャンセル）はご返金致しかねますので宜しくお願いします。

7. お問い合わせ先

（今年から事務局が変更されておりますのでご注意ください）

ベルト伝動技術懇話会 事務局
〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3番16号
TEL：0238-26-3212（ダイヤルン、飯塚研究室）
E-mail：transmissionbelt@sbte.jp
URL：<http://www.sbte.jp/>

以上